



～8月25・26日

の交流報告～

- ★認定NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク
- ★小児科医過労死認定訴訟
- ★場面緘黙児支援団体 (かもくネット)
- ★小児医療の改善を求めて
- ★児童ディサービス (たからばこ)
- ★川崎市子ども夢パーク 他



第22回日本外来小児科学会 年次集会

2012年8月24日～26日

パシフィコ横浜

会場 横浜第一館 横浜小児科会館  
会場 山本 澤 (川崎小児科クリニック)  
〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区磯間1-4-1 川崎パシフィコビル  
E-mail: yokohama22@h35.itcom.net  
☎ 045-336-2860 FAX 045-336-2006



ありがとう ございました。

～この<sup>手</sup>と…～



表題…桜井幸子 (婦人民主クラブ代表)  
 クラブ…堀井 雅道 (大学講師)  
 写真…田中史子 (水俣の写真家7人集の仲間)  
 事故判例・表裁判後のリーフレット…坂本珠恵 (準備会会員)  
 浅見洋子 (準備会事務局長)

※24日搬入…林田和行・原田敬三・浅見洋子  
 25日受付…坂本珠恵・浅見洋子  
 26日受付…秋山寿子・浅見洋子

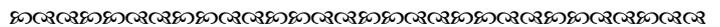


眠る 生きる  
 眠っている 生きている  
 二人目の ボクを  
 出さないで!

詩 浅見洋子

学校安全全国ネット準備会として正式に、日本外来小児科学会の「患者家族の会・支援者の会」の一員になりました。  
 来年度は、福岡県で開催とのことです。  
 一年かけて、福岡に仲間を得、参加しようと意気込んでいます。

刊行・問い合わせ：学校安全全国ネット準備会



事務局長 浅見 洋子

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビル1706

南北法律事務所内 TEL 03-3511-5070

FAX 03-3511-5784

[http://www.geocities.jp/school\\_safety\\_net/index.html](http://www.geocities.jp/school_safety_net/index.html)





## 〈お知らせ〉

### 1) 全国学校事故・事件を語る会



旧「兵庫学校事故・事件の会」が基となって、2003年5月に発足した、学校事故・事件被害者・遺族の支援とエンパワメントを目的とした集まりです。学校事故・事件被害者の相談に応じています。安心してご連絡ください。

事案の種類	連絡先氏名	TEL&FAX
死亡事案ー(熱中症等中学校事故)	宮脇 勝哉	0797-57-9640
死亡事案 (自殺事案)	内海 千春	0791-66-1108
上記外学校故・トラブル	中島 敏子	079-293-2436

### 2) 子どもの命と人権を守る福島の会

全国学校事務職員制度研究会で、成田征一さんが報告



**子どもたちの安全と安心が守られる学校に！**

～学校事故の背景と課題～

学習指導要領の改訂による中学校での「武道」必修化が目前に迫りました。しかし、教育行政による条件整備は一向に進んでいないのが現状です。果たしてこのままで子どもたちの安全は守られるのでしょうか。成田さんは、息子さんを柔道事故で亡くした経験から、その後一貫して「子どもの命と人権を守る会」の運動に取り組み、須賀川一中柔道部事故など数々の裁判支援も行っています。また、東日本大震災の復興に向けても「子どもの命と人権を守る会」で活動を行い、主に学校や子どもたちへの支援を続けています。福島県教育委員会との事故防止協議会の設置を実現した経過や、今回の大震災に対する教育委員会の対応など、学校災害に関する豊富な資料をもとに、子どもたちの安全と安心が守られる学校にするために何が必要なのか、学校事故の背景から課題を明らかにしていきます



事務局 福島県教職組合両沼支部 〒969-6565 福島県河沼郡会津坂下町惣六 2の4  
電話 0242-83-2279

### 3) 学校災害から子どもを守る高知の会



#### 結成会と学習会



6月16日(土曜日)13:30～ 高知城ホールで、  
「学校災害から子どもを守る高知の会 結成会と学習会」が開催  
学習会講師 船木 正文(大東文化大学准教授)  
テーマ 「安全・安心な学校をめざして

～中学校の武道(柔道・剣道・相撲)必修化、地震防災にかかわって～

今年度から、中学校の保健体育の授業で「武道」が必修化されました。これまで、特に柔道では部活動において死亡例を含む重大事故が発生しており、授業中の事故を心配する声が高まっています。また、近い将来に発生するとされている南海地震(巨大地震)に対しても、東日本大震災では学校の対応によって子どもたちの生死を分ける事例が報告されており、その対策が求められています。

「解説学校安全基準」(共著)の著者である船木さんをお招きし、子どもたちの安全を確保する



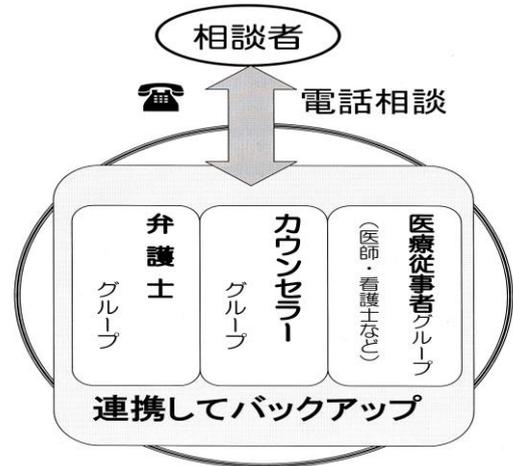
### 第3回公開学習会

9月7日 午後6時～8時  
早稲田大学戸山キャンパス 第5会議室  
講師 朝倉 正幸 (弁護士)

- ☆ 参加者は13名。内新しい方が4名。  
(心強さと、やる気を運んでくれました。)
- ☆ 新しい方の参加は、新しい目線と考えるべき問題点を提供してくれます。
- ☆ 朝倉弁護士の体験も基づいたお話は、将来この会が法人化したとき「第三者機関としての役割を担いたい」と願う私に、一歩具体的イメージを持つヒントを与えてくれました。



朝倉先生！ ありがとう ございました。  
これからも、お力添えをお願いします！  
(会員坂本珠恵さんがテープ起こしをしてくれます。)



電話相談はカウンセラー・弁護士等が直接お話を伺っています。



**つれづれに…**

日本外来小児科学会への参加は、意義あるものでした。子供たちの生活場面が不安定かつ危険な状況下にあるかを、他の参加団体の方々と交流を通し、学ばされました。

学校安全を多面的に捉え、多くの方々と連携し、子のもたちの生存権を守る働きかけが必要なのではと考えました。

それぞれの団体で、電話相談を開設しています。が、どこかで、壁を行き詰まりを感じているのも確かなようです。

**思えば…**  
**力を一つに…!**

〈お知らせ〉 第4回公開学習会の日程

☆日 時 10月14日 (日)  
午後2:00～4:00

場 所 早稲田大学 戸山キャンパス  
39号館 第5会議室

テーマ 学校保健安全法における問題点 (仮)

講 師 堀井 雅道 

☆ 午後5時から懇親会を予定しています。

 **電話相談の報告**

5月24日から、毎週木曜日に行っている電話相談には、確実相談が寄せられています。

5/24-3 ・5/31-2  
6/7-1・6/14-0・6/21-1・6/28-2  
7/5-3 ・7/2-1・7/19-1・7/26-0  
8/2-1 ・8/9-1・8/16(休)・8/23-2 ・8/30-1  
9/6-1 (相談件数 計20件)

※ 学校内で教師のいない場所で友だち間で起きた事故相談が多く、学校側が関与しない相談が数件ありました。(第三者機関として役割を担えたら…)



八月二五・二六日の展示では、鹿島市の医師が熱中症の展示に関心を示されました。

地方での校医の厳しい現状を聞くことが出来ました。

学校の保健室や職員室に安全配慮に必要留意点「学校安全保険法の必要箇所」を誰もが目に付くよう掲示してもらおう働きかけも、私たちのなるべき事なのかもと思いました。